



温故知新



平成二十七年二月六日

野田工業(株)研究会の活動で、安全衛生協力会の幹事と共に川崎大師に安全祈願して参りました。お護摩は、御本尊のご宝前に設けられた護摩壇の周囲に香華をはじめ五穀、お供物をそなえ、斎戒沐浴して心身を浄めた導師が、中央の炉の中に護摩木を焚いて、御本尊厄除弘法大師さまのご供養をすることにはじまる、きわめて厳肅な秘法です。

合掌して、お大師さまのご宝号「南無大師遍照金剛(なむだいしへんじょうこんごう)」をお唱えください。

このお護摩によって、皆様の煩惱を焼き浄め、大厄を消除し、すすんで家内安全、商売繁昌、病気平癒、心願成就など、開運の祈願をなされますことをおすすめいたします。



【今号の主な内容】

- P① 川崎大師
- P② //
- P③ ことわざ
- P④ 職長会お知らせ



発行

野田工業 株式会社
 東京都中央区銀座6-6-19
 花菱ビル5F
 TEL : 03-3572-1866
 FAX : 03-3575-0420



◀情報漏えい対策の7つのルール▶

1.持ち出し禁止

情報資産を許可なく持ち出さない

許可を得てから持ち出す場合はデータを暗号化する

2.安易な放置禁止

情報資産を未対策のまま目の届かないところに放置しない

セキュリティワイヤー装着等の盗難防止対策を実施する

◀やってはいけない具体例▶

- 1) 図面や外部記憶体(USBメモリ、DVD等)を机の上に放置したまま席を離れる、あるいは帰宅する
- 2) パソコンを起動したまま他人が利用できる状態で席を離れる
- 3) 特に重要な情報が格納された電子媒体や書類を、鍵のかからないキャビネットなどに保管する

3.安易な廃棄禁止

情報資産を未対策のまま廃棄しない

◀やってはいけない具体例▶

- 1) 工事完了後、客席・取引先との契約があるにも係らず関係書類をゴミとして処分する
- 2) 不要な外部記憶媒体(USBメモリ・DVD等)を破碎せず廃棄する
- 3) 不要なパソコンのデータを読み取られないように専用ソフトで処理せず廃棄する

4.不要な持込み禁止

私物の機器類(パソコン、外部記憶媒体)やプログラムなどの

データを許可なく持込まない

◀やってはいけない具体例▶

- 1) 私物のパソコンや外部記憶媒体(USBメモリ、DVD等)を持ち込んで使用する
- 2) 業務に関係ないインターネットサイトを業務用のパソコンで閲覧する
- 3) 業務に必要なない情報(データ)や私物のソフトを業務中に使用する
- 4) 業務に関係のないフリーウェアやファイル交換ソフト(Winny他)などをインターネットからダウンロードして使用する

5.ユーザーID・パスワードの貸し借り禁止

個人に割り当てられた権限を許可なく他人に貸与または譲渡しない

パスワードの統合(複数のシステムを同じパスワードで使用)や、インターネットを使ったサービスの使用が進むなか、以前にも増してパスワードの管理が重要となっています。

6.公言禁止

業務上知り得た情報を許可なく公言しない

7.まず報告

情報漏えいを起こしたら自分で判断せず
にまず報告する

自分の会社(組織)のことだけでなく、情報を漏えいされた最終的な被害者(顧客、取引先、株主、関係会社、従業員など情報漏えいによって被害を受ける様々な関係者)の被害を最小限に抑える必要があります⇒すばやい対応によって、問題を最小限に止められる可能性が高まります。

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

●おおわらわ●

『帽子はきちんとかぶろう』



「おおわらわ(大童)」とは、一生懸命に働くこと。また、大忙しのことをいいます。

昔は子供、つまり童の髪は散らし髪でしたが、大人は普段はきちんと髪を結っていました。しかし、戦にでるとその激しさで兜は脱げ、髪を束ねたもどりとけて、ざんばら髪になって大奮闘したことから、「大童」は力戦奮闘、大忙しのことを意味するようになりました。「人手がなくて大童だった」、「大童で時間までに片付けたよ」と職場でもよく言います。

着帽を義務づけられている職場では、帽子をかぶってはいるものの、かぶり方が悪くて髪の毛を大童にしている人を見かけます。しかしそのような状態は、見てくれが悪いだけでなく、機械に髪の毛が巻き込まれたり、髪の毛の飛散等による製品等への影響もあります。

戦場で武士の兜が脱げ、文字通り大童で戦った戦は、おおむね負け戦だったようです。

私たちが職場では、帽子が脱げたり、髪の毛が飛び出して大童にならないよう、帽子はきちんとかぶり、事故などで大童にならないよう安全第一で段取りよく作業を進めましょう。

★職長会のお知らせ★



★日時 平成27年3月20日(金)

★時間 18時00分～

★会場 ニュー新橋ビル 地下2階